

赤字構造からの脱却に向けた平成 19 年度における取組み

- 平成 22 年度に単年度黒字化を実現し、減債基金借入残高及び府債残高を計画期間内にピークアウトさせるため、施策の再構築や組織等の再構築、歳入の確保でプログラム(案)の目標額を実現します。

《行財政改革プログラム(案)による取組み》

(単位：億円、一般財源ベース)

主な取組内容	プログラム(案)の目標額	19 年度予算
施策の再構築		施策の再構築
金剛コロニーの再編整備 市町村振興補助金・市町村施設整備資金貸付金の再精査 公立大学法人大阪府立大学運営交付金の法人運営効率化による縮減 建設事業の重点化 施策評価や事務事業見直しによる取組み など	64	64
組織等の再構築		組織等の再構築
組織のスリム化 職員数削減に向けた取組み 勤務条件等の見直し 財政収支において地域手当の支給率を 10%としていることを踏まえた対応 など 出資法人改革 給与構造改革への府の対応にあわせた取組み	66	66
歳入の確保		歳入の確保
自主財源の確保 府税の徴収向上 使用料・手数料の見直し	10	10
合 計	140	140

18 年度の給与改定 (1.46%) に伴う抑制額は上記金額に含んでいない

(参 考)

【改革目標額】

(単位：億円、一般財源ベース)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	5年間の総額 (19~23年度)
施策の再構築	64	105	140	180	185	674
一般施策	35	60	95	130	130	450
建設事業	29	45	45	50	55	224
組織等の再構築	66	165	185	200	210	826
組織・定数、勤務条件の見直し	65	160	175	190	200	790
出資法人の見直し	1 (4)	5 (9)	10 (14)	10 (14)	10 (14)	36 (55)
歳入の確保	10	10	15	15	15	65
取組計	140	280	340	395	410	1,565

()は一般施策に計上した再掲分を含む数値

- 行財政計画(案)については、計画(案)の緊急取組期間(平成17～19年度)において目標を上回る成果をあげることができました。引き続き、赤字構造からの脱却に向け改革を継続していきます。

《行財政計画(案)による取組み》

(単位：億円、一般財源ベース)

現計画案の緊急取組期間(17～19年度)				
主な取組内容	計画見込額	(17年度)	(18年度)	(19年度)
施策の再構築				
水道事業会計への一般会計繰出金の休止 建設事業の重点化 流域下水道事業のあり方・維持操作補助金の見直し 施策評価や事務事業見直しによる取組み など	250	(65)	(85)	(100)
組織等の再構築				
組織のスリム化 職員数削減に向けた取組み 勤務条件等の見直し 勤務条件等の見直し 期末・勤勉手当の削減、管理職手当の見直し、特殊勤務手当等の見直し、時間外勤務の縮減、非常勤(若年)特別嘱託員のさらなる活用と制度の見直し検討、職員互助会・教職員互助組合(職員の福利厚生団体)への補助金の削減 など 出資法人改革 出資法人改革(公の施設改革を含む)	555	(135)	(180)	(240)
歳入の確保				
自主財源の確保 府税の徴収向上 府有財産の売払い など	420	(140)	(140)	(140)
合計	1,225	(340)	(405)	(480)

17年度実績	18年度実績見込み	19年度予算	緊急取組期間合計
施策の再構築			
89	136	154	379
組織等の再構築			
145	195	251	591
歳入の確保			
193	232	191	616
427	563	596	1,586

別途18年度においては、給与改定により給与水準を引下げ(1.46%抑制額19億円)